

# 京都、東京に次いで“学生が多い”

## ～平成18年度学校基本調査速報～

平成18年度学校基本調査(指定統計第13号)の速報結果が、文部科学省から8月に公表されました。

今号の特集は福岡市の概要を紹介します。なお、確報結果は12月に公表されます。

### 1. 学校基本調査とは

学校基本調査は、学校教育法に規定する学校(※)、市町村教育委員会を対象に、学校に関する基本的事項(学校数、在学者数、教職員数、学校施設、学校経費、卒業後の進路状況等)を調査し、学校教育行政上の基礎資料を得ることを目的に、昭和23年度から毎年5月1日現在で実施されています。

※学校教育法に規定する学校

- …幼稚園、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、大学、短期大学、高等専門学校、盲・聾・養護学校、専修学校、各種学校

### 2. 幼稚園の概況

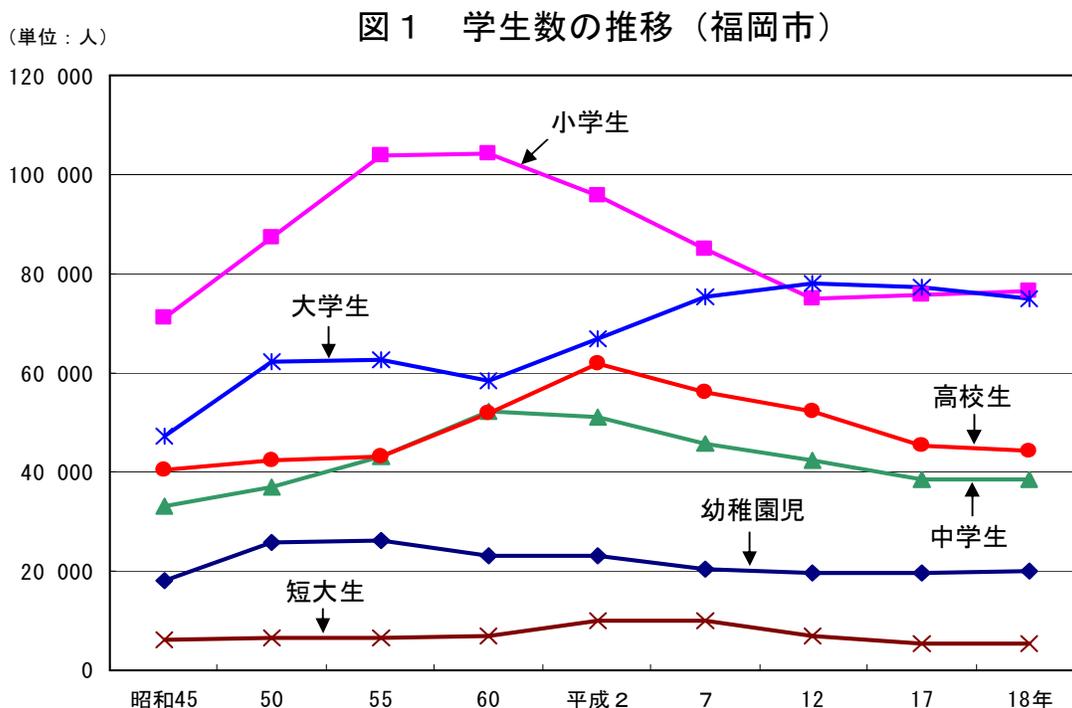
幼稚園数は129園で、前年度に比べ1園減少していますが、園児数は19,907人(男10,204人、女9,703人)と前年度に比べ434人増加しています。園児数の推移を見ると、昭和53年度27,632人をピークに緩やかな減少が続いていましたが、平成7年度頃からは横ばいとなっています。

年齢別では、3歳児5,214人(構成比26.2%)、4歳児7,370人(同37.0%)、5歳児7,323人(同36.8%)で、いずれの年齢においても前年度に比べて増加しています。

教員数も1,248人(男83人、女1,165人)と前年度に比べ34人増加し、教員1人当たりの園児数は前年度と同数の16.0人となっています。(図1、表1)

### 3. 小学校の概況

小学校数は148校で、平成10年度以降変動は



なく、児童数は76,450人（男38,950人、女37,500人）と、前年度に比べ731人増加しています。児童数の推移を見ると、昭和57年度107,206人をピークに減少が続いていましたが、平成14年度以降、再び増加傾向に転じています。学年別では、いずれの学年も構成比は16.5～16.8%と、ほぼ均等の児童数となっています。

学級数は2,511学級で、前年度に比べ57学級増加し、平成15年度以降、児童数の増加等に伴い増加傾向にあります。平成13年度以降増加傾向にある教員数は3,595人（男1,322人、女2,273人）と、前年度に比べ58人増加しています。1学級当たりの児童数は30.4人（前年度30.9人）、教員1人当たりの児童数は21.3人（同21.4人）となっています。

行政区別に児童数を見ると、東区が最も多く、次いで南区、早良区、西区、博多区、中央区、城南区の順となります。（図1・2、表2）

#### 4. 中学校の概況

中学校数は83校で、平成12年度以降変動はなく、生徒数は38,446人（男19,228人、女19,218人）と、前年度に比べ90人増加しています。生徒数の推移を見ると、昭和62年度55,148人をピークに減少が続いていましたが、18年ぶりに増加に転じました。

学年別に生徒数を見ると、いずれの学年も構成比は32.9～33.6%と、ほぼ均等となっています。

学級数は1,118学級で、前年度に比べ12学級増加しています。

教員数は2,209人（男1,288人、女921人）で、前年度に比べ4人減少しています。1学級当たりの生徒数は34.4人（前年度34.7人）、教員1人当たりの生徒数は17.4人（同17.3人）となっています。

行政区別に生徒数を見ると、東区が最も多く、小学校児童数と同様に南区、早良区と続きますが、次いで中央区、西区、博多

表1 幼稚園の概況

区分	園数	園児数						教員数(本務者)			教員1人 当たり園 児数
		総数	男	女	3歳	4歳	5歳	計	男	女	
平成14年度	131	19 459	9 852	9 607	4 754	7 264	7 441	1 188	69	1 119	16.4
15年度	131	19 413	9 845	9 568	4 582	7 418	7 413	1 186	78	1 108	16.4
16年度	130	19 398	9 872	9 526	4 780	7 133	7 485	1 201	85	1 116	16.2
17年度	130	19 473	9 940	9 533	4 975	7 187	7 311	1 214	80	1 134	16.0
平成18年度	129	19 907	10 204	9 703	5 214	7 370	7 323	1 248	83	1 165	16.0

表2 小学校の概況

区分	学校数	学級数	児童数										教員数(本務者)			教員1人当 たり児童数
			総数	男	女	1年	2年	3年	4年	5年	6年	総数	男	女		
平成14年度	148	2 362	74 757	38 100	36 657	12 561	12 775	12 220	12 422	12 486	12 293	3 329	1 221	2 108	22.5	
15年度	148	2 380	75 189	38 345	36 844	12 560	12 581	12 807	12 261	12 422	12 558	3 382	1 234	2 148	22.2	
16年度	148	2 401	75 385	38 419	36 966	12 652	12 582	12 571	12 823	12 267	12 490	3 450	1 262	2 188	21.9	
17年度	148	2 454	75 719	38 521	37 198	12 778	12 721	12 545	12 573	12 811	12 291	3 537	1 296	2 241	21.4	
平成18年度	148	2 511	76 450	38 950	37 500	12 751	12 847	12 747	12 621	12 614	12 870	3 595	1 322	2 273	21.3	
東区	28	516	15 766	8 053	7 713	2 595	2 669	2 575	2 614	2 609	2 704	736	...	...	21.4	
博多区	19	275	8 142	4 221	3 921	1 462	1 360	1 377	1 358	1 249	1 336	421	...	...	19.3	
中央区	16	257	7 720	3 660	4 060	1 323	1 301	1 273	1 268	1 274	1 281	371	...	...	20.8	
南区	26	457	14 141	7 379	6 762	2 330	2 360	2 333	2 327	2 367	2 424	636	...	...	22.2	
城南区	11	207	6 422	3 305	3 117	1 038	1 079	1 042	1 103	1 068	1 092	284	...	...	22.6	
早良区	25	419	12 759	6 464	6 295	2 073	2 127	2 175	2 051	2 166	2 167	609	...	...	21.0	
西区	23	380	11 500	5 868	5 632	1 930	1 951	1 972	1 900	1 881	1 866	538	...	...	21.4	

区、城南区の順となります。(図1・3、表3)

### 5. 高等学校の概況

高等学校数は41校で、平成9年度以降変動はなく、生徒数は44,407人と、前年度に比べ1,078人減少しています。生徒数の推移を見ると、平成2年度59,396人をピークに中学生とほぼ同じ調子で減少しています。

生徒数を本科・専攻科(※)別に見ると、本科では、全日制が43,047人(対前年度比1,096人減)、定時制は1,183人(同7人減)と前年度に比べ減少していますが、専攻科は177人(同25人増)と増加しています。本科全日制の生徒は平成3年度以降減少傾向にあり、定

時制は平成16年度以降ほぼ横ばいで推移しています。

教員数は2,423人で、前年度に比べ14人減少しています。内訳を見ると、全日制は2,336人(対前年度比12人減)、定時制は87人(同2人減)となっています。(図1、表4)

#### ※専攻科

…高等学校を卒業した者等に対し、特別の事項を教授し、その研究を指導することを目的として設置された科(例:看護科、介護福祉科)。

### 6. 大学および短期大学の概況

大学数は11校で平成15年度以降変動はなく、学生数は74,830人で前年度に比べ2,639人減少しています。学生数の推移を見ると、

図2 小学校児童数(区別)

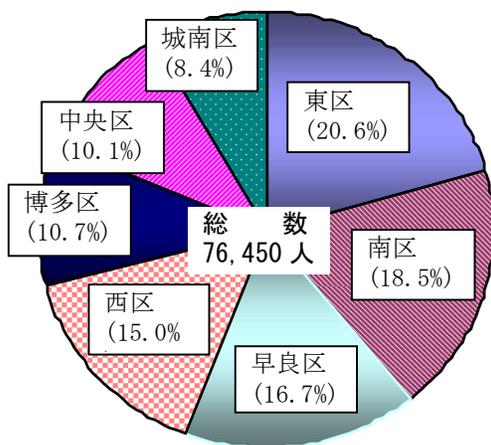


図3 中学校生徒数(区別)

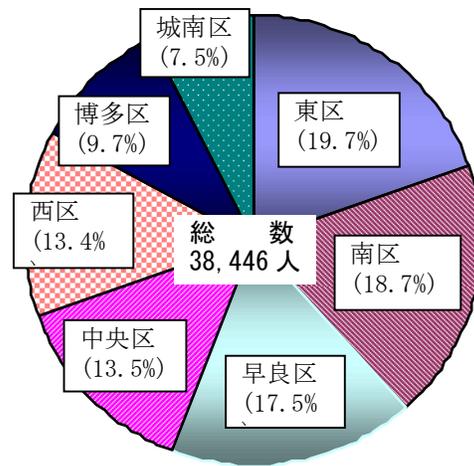


表3 中学校の概況

区分	学校数	学級数	生徒数						教員数(本務者)			教員1人当たり生徒数
			総数	男	女	1年	2年	3年	計	男	女	
平成14年度	83	1 150	39 861	19 914	19 947	12 945	13 389	13 527	2 213	1 282	931	18.0
15年度	83	1 124	38 994	19 433	19 561	12 592	12 986	13 416	2 190	1 280	910	17.8
16年度	83	1 108	38 465	19 275	19 190	12 862	12 602	13 001	2 187	1 282	905	17.6
17年度	83	1 106	38 356	19 229	19 127	12 839	12 898	12 619	2 213	1 296	917	17.3
平成18年度	83	1 118	38 446	19 228	19 218	12 643	12 885	12 918	2 209	1 288	921	17.4
東区	15	220	7 568	3 796	3 772	2 452	2 525	2 591	443	...	...	17.1
博多区	11	113	3 725	2 041	1 684	1 211	1 240	1 274	249	...	...	15.0
中央区	10	144	5 184	2 326	2 858	1 724	1 750	1 710	275	...	...	18.9
南区	16	211	7 181	3 526	3 655	2 348	2 401	2 432	398	...	...	18.0
城南区	6	86	2 895	1 409	1 486	959	994	942	169	...	...	17.1
早良区	11	188	6 739	3 466	3 273	2 213	2 279	2 247	350	...	...	19.3
西区	14	156	5 154	2 664	2 490	1 736	1 696	1 722	325	...	...	15.9

平成14年度78,484人をピークに緩やかな減少が続いています。

性別に見ると、男は47,884人（対前年度比1,830人減）、女は26,946人（同809人減）となっていますが、10年前（平成8年度）に比べ、男は6,979人減少しているのに対し、女は5,307人増加しているのが大きな特徴です。

設置者別に学生数を見ると、国・公立は19,082人で前年度に比べ46人増加し、私立は55,748人で前年度に比べ2,685人減少しています。

教員数は4,508人で、前年度に比べ3人減少しています。

短期大学数は、九州大学医療技術短期大学の九州大学医学部保健学科への統合が平成17年度に完了し、私立のみの9校となっています。

学生数は5,368人で前年度に比べ83人減少しています。学生数の推移を見ると、平成5年度10,445人をピークに減少が続いています。大学の進学状況と合わせて、女性

の4年制大学への進学傾向が強くなっていると思われます。

教員数は280人で前年度に比べ2人減少しています。

## 7. 大都市の大学および短期大学

全国16大都市の大学および短期大学の比較をします。

学校数、学生数とも東京都区部が最も多く、次いで学校数では、京都市、神戸市、同数の札幌市、名古屋市と続き、福岡市は大阪市と同数の6番目となっています。学生数では、京都市、横浜市、名古屋市と続き、福岡市は5番目となっています。

各都市の人口に占める学生数の割合を見ると、京都市が9.4%（平成17年度9.4%）と最も多く、東京都区部が5.8%（同5.8%）、福岡市は5.7%（同5.9%）と僅差の3番目となっており、以下、仙台市、神戸市と続きます。

福岡市は、大都市の中でも“学生が多い街”と言えるでしょう。（図4、表7）

表4 高等学校の概況

区分	学校数				生徒数				教員数（本務者）		
	計	全日制	定時制	併置	計	本科		専攻科	計	全日制	定時制
						全日制	定時制				
平成14年度	41	39	1	1	49 876	48 516	1 258	102	2 532	2 448	84
15年度	41	39	1	1	47 990	46 673	1 219	98	2 511	2 422	89
16年度	41	39	1	1	46 703	45 425	1 180	98	2 464	2 377	87
17年度	41	39	1	1	45 485	44 143	1 190	152	2 437	2 348	89
平成18年度	41	39	1	1	44 407	43 047	1 183	177	2 423	2 336	87

表5 大学の概況

区分	学校数				学生数						教員数 （本務者）
	計	国立	公立	私立	計	男	女	国立	公立	私立	
平成14年度	12	2	1	9	78 484	50 782	27 702	17 815	873	59 796	4 492
15年度	12	2	1	9	77 724	49 952	27 772	18 021	881	58 822	4 541
16年度	11	1	1	9	76 267	48 842	27 425	17 942	876	57 449	4 479
17年度	11	1	1	9	77 469	49 714	27 755	18 155	881	58 433	4 511
平成18年度	11	1	1	9	74 830	47 884	26 946	18 189	893	55 748	4 508

## 8. 中学および高校卒業後の進路

平成18年3月の中学校卒業者は12,631人です。

卒業後の進路を見ると、高等学校等進学者は12,162人で、卒業生総数の96.3%を占めています。就職者は68人で、卒業生総数に占める割合は0.5%と、過去最低となっています。(表8)

平成18年3月の高等学校卒業者は14,510人です。

卒業後の進路を見ると、最も多いのは大学等進学者の8,075人で、卒業生に占める割合は55.7%です。大学等進学率はここ10年ほど50%前後で推移していましたが、今年には大幅に上昇しています。次に多いのは専

修学校専門課程進学者の2,187人で、卒業生総数の15.1%を占めています。3番目に多いのは就職者の1,556人で、卒業生総数の10.7%を占めています。4番目に多いのは専修学校一般課程等入学者の1,442人で、卒業生総数の9.9%を占めています。就職者と前年度までの順位が逆転しています。(図4, 表9)

\* \* \* \* \*

(参考)

文部科学省 <http://www.mext.go.jp/>

福岡県データウェブ

<http://www.toukei.pref.fukuoka.jp/>

表6 短期大学の概況

区分	学校数				学生数						教員数 (本務者)
	計	国立	公立	私立	計	男	女	国立	公立	私立	
平成14年度	10	1	—	9	6 100	887	5 213	501	—	5 599	330
15年度	10	1	—	9	5 673	770	4 903	335	—	5 338	276
16年度	10	1	—	9	5 507	684	4 823	181	—	5 326	275
17年度	10	1	—	9	5 451	618	4 833	21	—	5 430	282
平成18年度	9	—	—	9	5 368	600	4 768	—	—	4 768	280

表7 大都市の大学および短期大学の概況

都市名	学校数			学生数			推計人口 〔平成18年5月1日 現在〕	人口に占める 学生の割合 (%)
	計	大学	短期大学	計	大学	短期大学		
札幌市	23	14	9	59 508	54 904	4 604	1 886 474	3.2
仙台市	13	10	3	49 274	48 476	798	1 025 822	4.8
さいたま市	6	4	2	17 371	16 387	984	1 181 096	1.5
千葉市	12	7	5	30 390	28 249	2 141	928 054	3.3
東京都区部	128	85	43	490 233	468 032	22 201	8 516 223	5.8
川崎市	6	3	3	29 353	28 447	906	1 337 480	2.2
横浜市	18	11	7	86 286	83 085	3 201	3 596 028	2.4
静岡市	7	4	3	18 571	16 268	2 303	711 947	2.6
名古屋市	23	15	8	86 140	82 626	3 514	2 219 515	3.9
京都市	37	24	13	139 004	132 634	6 370	1 473 655	9.4
大阪市	20	9	11	44 496	39 099	5 397	2 635 085	1.7
堺市	10	6	4	12 737	11 732	1 005	831 439	1.5
神戸市	25	18	7	69 940	67 017	2 923	1 528 587	4.6
広島市	17	12	5	34 099	31 294	2 805	1 156 112	2.9
北九州市	14	9	5	25 090	23 049	2 041	991 281	2.5
福岡市	20	11	9	80 198	74 830	5 368	1 409 535	5.7

表 8 中学校卒業後の進路

区分	総数	高等学校等 進学者		専修学校 高等課程 進学者		専修学校 一般課程 入学者		公共職業 能力開発 施設等 入学者		就職者		その他の者		就職進学者, 就職入学者 (再掲)	
			%		%		%		%		%		%		%
平成14年	14 381	13 821	96.1	59	0.4	37	0.3	10	0.1	125	0.9	329	2.3	2	0.0
15年	13 532	12 978	95.9	154	1.1	25	0.2	9	0.1	96	0.7	270	2.0	4	0.0
16年	13 428	12 848	95.7	127	0.9	26	0.2	16	0.1	131	1.0	280	2.1	4	0.0
17年	13 008	12 564	96.6	92	0.7	22	0.2	17	0.1	90	0.7	223	1.7	4	0.0
平成18年	12 631	12 162	96.3	141	1.1	28	0.2	7	0.1	68	0.5	228	1.8	3	0.0

※平成18年は総数と内訳が一致しない。%は構成比を表す。

表 9 高等学校卒業後の進路

区分	総数	大学等進学者		専修学校 専門課程 進学者		専修学校 一般課程 等入学者		公共職業 能力開発 施設等 入学者		就職者		一時的な 仕事に就 いた者		その他の者		就職進学者, 就職入学者 (再掲)	
			%		%		%		%		%		%		%		%
平成14年	16 351	8 232	50.3	2 530	15.5	1 928	11.8	42	0.3	1 598	9.8	...	2 021	12.4	21	0.1	
15年	16 167	8 165	50.5	2 520	15.6	1 946	12.0	26	0.2	1 512	9.4	...	1 998	12.4	9	0.1	
16年	15 504	7 717	49.8	2 473	16.0	1 943	12.5	24	0.2	1 392	9.0	465	3.0	1 490	9.6	16	0.1
17年	15 584	7 907	50.7	2 435	15.6	2 119	13.6	53	0.3	1 430	9.2	205	1.3	1 435	9.2	10	0.1
平成18年	14 510	8 075	55.7	2 187	15.1	1 442	9.9	43	0.3	1 556	10.7	272	1.9	939	6.5	4	0.0

※平成18年は総数と内訳が一致しない。%は構成比を表す。

図 4 高等学校卒業後の進路

